

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費

事業名 警察署庁舎建設費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 装備施設課 電話番号：058-271-2424(内2264)

E-mail：c18868@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,998,428 千円 (前年度予算額： 1,412,466 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,412,466	296,737	0	0	0	0	0	853,300	262,429
要求額	1,998,428	287,186	0	0	0	0	0	1,224,800	486,442
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

多治見警察署は、建築後54年が経過し、県下警察署の中で最も古いため老朽化が著しく、また、敷地が狭いことから駐車場不足、庁舎の機能不備等の問題が顕著である。同署は災害時における東濃圏域の基幹的な防災拠点の活動も担うことから、現状の問題を一気に解消するため、現在地及び隣接する土地の取得により敷地を拡幅して改築整備することにより、駐車場不足の解消、現況施設の不具合や機能不備を改善・拡充のうえ、南海トラフ巨大地震の発生に備えて、必要な性能・機能を保有した庁舎として整備を図る。

また、大垣警察署は、建築後53年が経過し、多治見警察署に次いで県下警察署の中で2番目に古いため老朽化が著しく、また、敷地が狭いことから駐車場不足、庁舎の機能不備等の問題が顕著である。大垣警察署も災害時における西濃圏域の基幹的な防災拠点の活動も担うことから、現在地で改築整備し、現況施設の不具合や機能不備を改善・拡充のうえ、南海トラフ巨大地震の発生に備えて、必要な性能・機能を保有した庁舎として整備を図る。

(2) 事業内容

- ・多治見警察署建設工事
8か年事業により、令和8年度までの新庁舎棟及び車庫棟（外構等含む）の完成を目指し整備を実施する。
- ・大垣警察署建設工事
7か年事業により、令和10年度までの新庁舎棟及び車庫棟（外構等含む）の完成を目指し整備を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

都道府県警察施設整備費補助金交付要領により補助率を決定する。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	23,444	事務費、初度調弁費（多治見・消耗品）
役務費	16,559	建築確認手数料、引越等経費（多治見）、配線移設費
委託料	236,538	工事監理委託料、設計意図伝達委託料、工事設計委託料
工事請負費	1,632,111	庁舎等建設工事費
その他	89,776	仮事務所庁舎使用料（多治見）、駐車場借上費、初度調弁費（多治見・備品購入費）
合計	1,998,428	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

多治見警察署新庁舎建設にかかる事業計画は、令和元年度から令和8年度までの8か年事業であるが、令和3年度に新庁舎の設計業務が完了し、令和4年度に工事を着工しているものである。

大垣警察署新庁舎建設にかかる事業計画は、令和4年度から令和10年度までの7か年事業であるが、令和6年度中の新庁舎設計業務を完了、付属棟の先行解体及び新庁舎棟工事の請負契約締結を経て、令和7年度に本格着工する予定である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度までに現在地にて多治見警察署の建て替え整備を行い、令和10年度までに現在地にて大垣警察署の建て替え整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

警察署の建て替え整備事業であり、指標等を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	【多治見警察署】 実施設計完了、仮設庁舎建設、付属棟解体
令和4年度	【多治見警察署】 庁舎棟建設工事請負契約（工事着工） 【大垣警察署】 公募型プロポーザル実施、設計業務委託契約（設計着手） 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	老朽化、事務室の狭隘化、機能不備が著しい多治見警察署と大垣警察署の改築整備であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	「岐阜県震災対策検証委員会」の提言を踏まえて、防災拠点施設の耐震性を確保し、災害活動拠点の機能維持を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	将来を見据えて事務室の拡張性、設備更新を考慮した設計により、長寿命化を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「岐阜県西部・東部の真の防災拠点としての警察署整備」、「警察署特殊機能を強化した警察署整備」、「長寿命建築を目指した警察署整備」、「地域住民の利便性の向上に向けた警察署整備」を改築コンセプトに多治見警察署と大垣警察署の改築整備を進める。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 多治見警察署と大垣警察署の改築整備は、東濃ブロックと西濃ブロックの防災拠点としての警察署整備、安全相談室や被害者対策関係諸室の設置、留置施設の増強整備などに取り組んでいく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】